

第2章 七戸町の現状と都市構造上の課題

1 町の現状と将来の見通し

(1) 人口・世帯

① 総人口・世帯数

総人口は平成2年から減少傾向が進んでおり、世帯数は平成12年をピークに減少傾向となっています。平均世帯人員も減少傾向が続いており、平成22年には3人未満となり、核家族化が進んでいる傾向が伺えます。ただし、直近5年で見ると、人口や世帯数の下がり幅は小さくなっています。

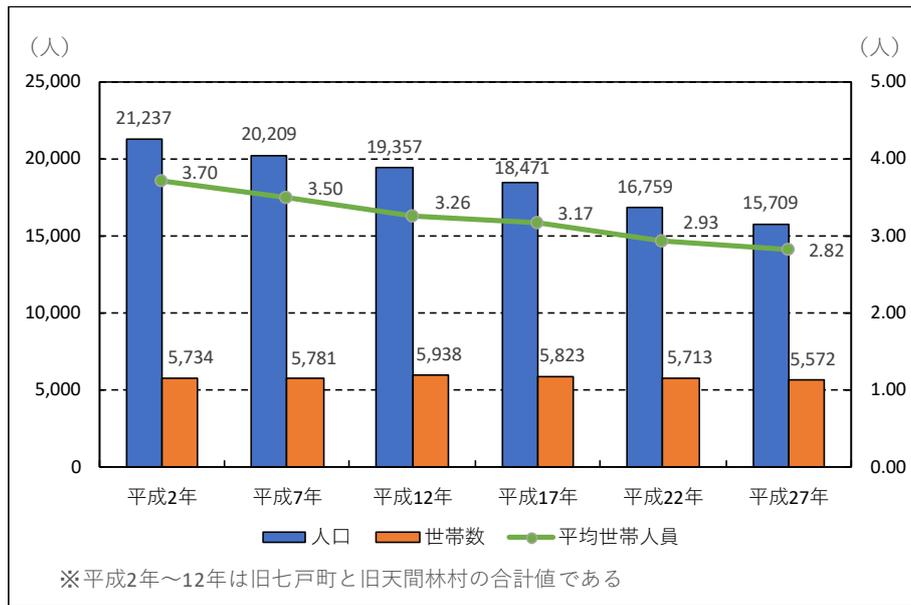


図 2-1-1 総人口・世帯数の推移

資料：国勢調査

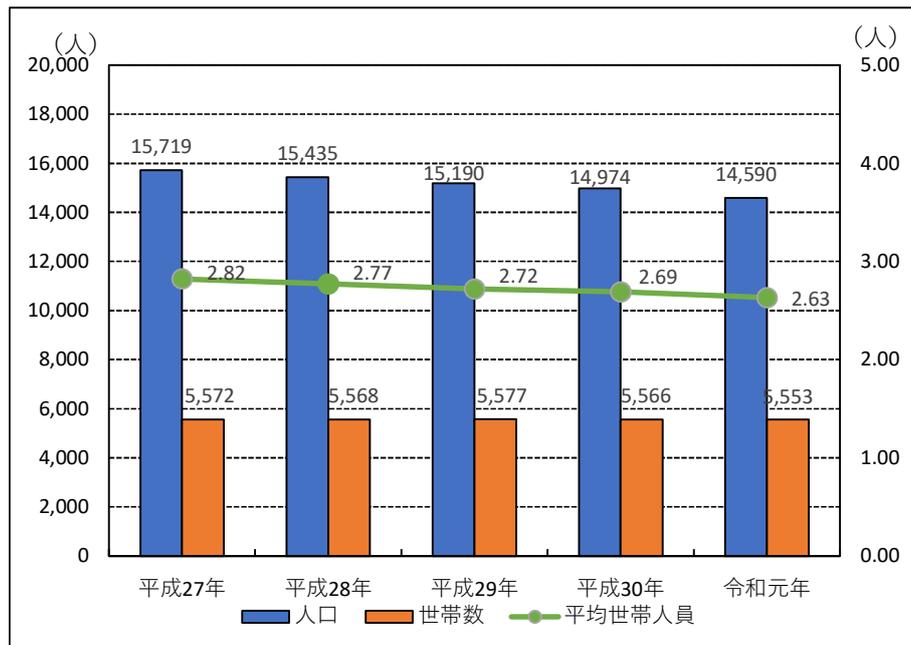


図 2-1-2 総人口・世帯数の推移（直近5年） 資料：青森県の推計人口年報（各年10月1日現在）

②人口構成比

15歳未満の年少人口の減少と65歳以上の高齢者人口の増加が著しくなっています。平成27年には、総人口の10%程度しか15歳未満人口が占めておらず、65歳以上は35%以上を占めています。

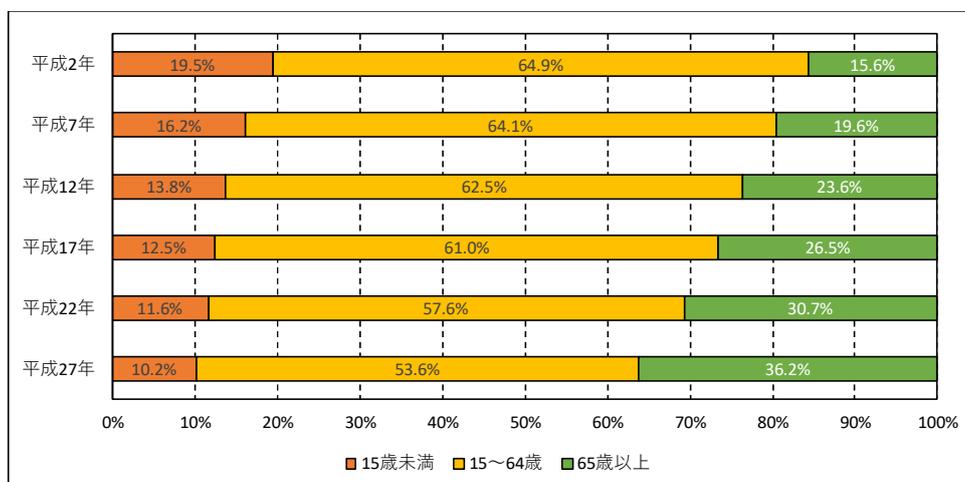


図 2-1-3 年齢別人口比

資料：国勢調査

表 2-1-1 年齢別人口及び構成比

	0～14歳		15～64歳		65歳～		年齢 不詳	計
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比		
平成2年	4,414	19.5%	13,777	64.9%	3,316	15.6%		21,237
平成7年	3,280	16.2%	12,960	64.1%	3,969	19.6%		20,209
平成12年	2,676	13.8%	12,099	62.5%	4,565	23.6%	17	19,357
平成17年	2,317	12.5%	11,261	61.0%	4,893	26.5%		18,471
平成22年	1,949	11.6%	9,656	57.6%	5,152	30.7%	2	16,759
平成27年	1,604	10.2%	8,419	53.6%	5,684	36.2%	2	15,709

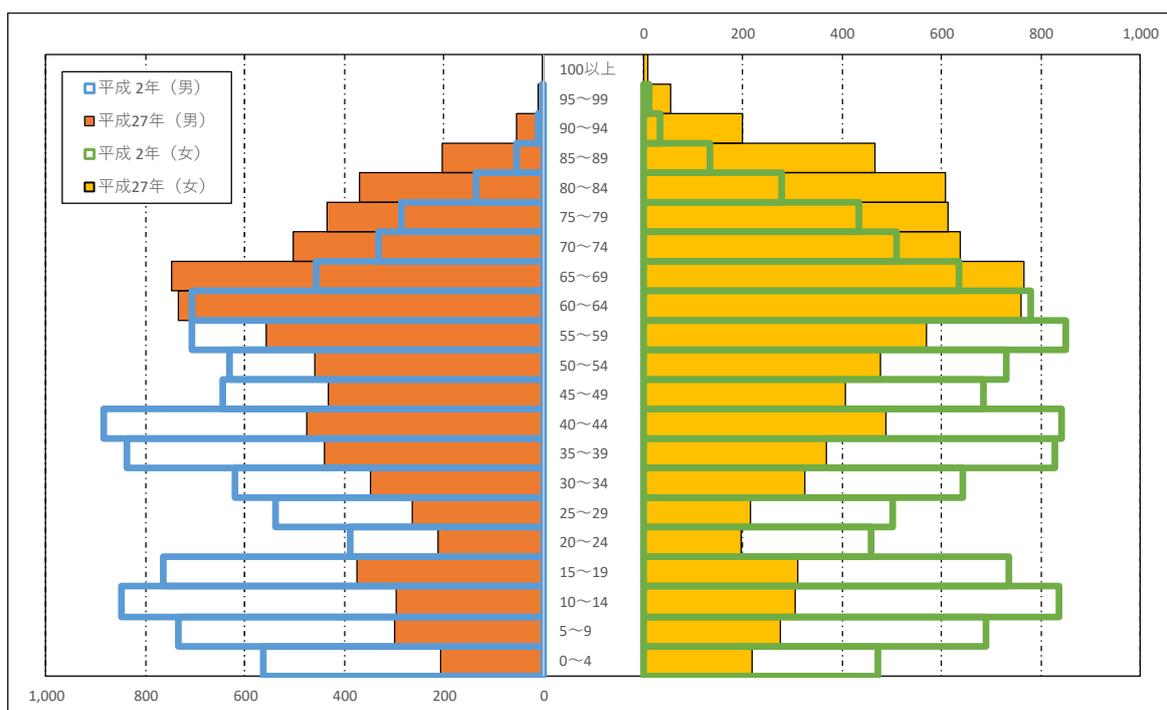


図 2-1-4 年齢階層（5歳毎）別人口の比較（平成2年、平成27年）

資料：国勢調査

③自然動態

出生数と死亡数の推移をみると、近年は死亡数が出生数を上回り、自然増減はマイナスで推移し、直近5年間の自然増減平均は、マイナス177人となっています。

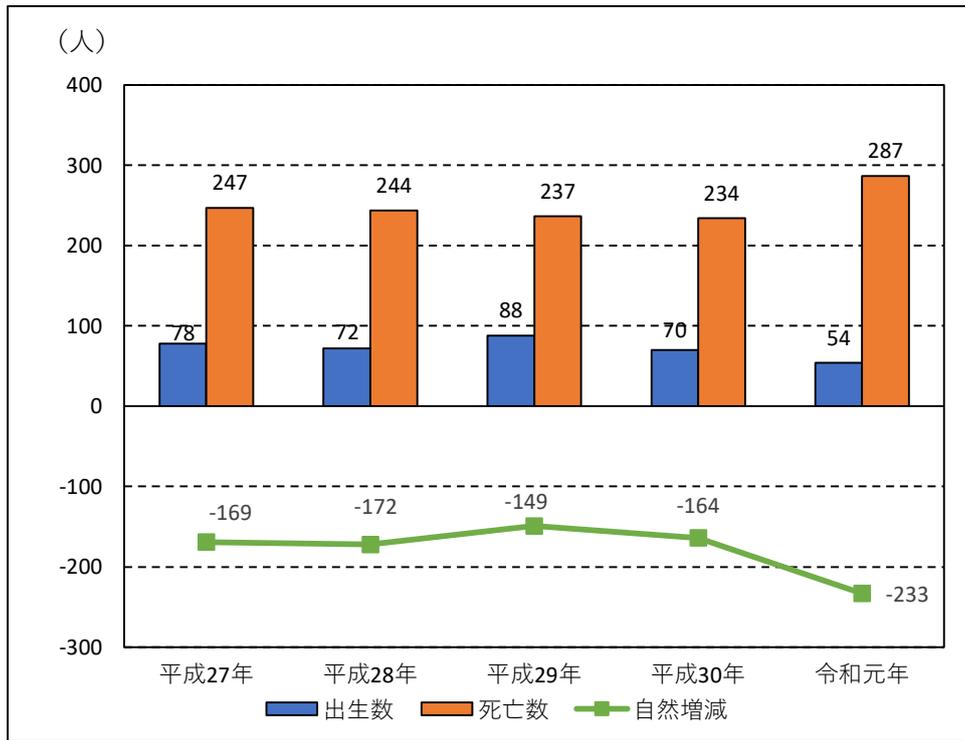


図 2-1-5 自然動態 資料：青森県の推計人口年報（各年 10 月 1 日現在）

④社会動態

転入数と転出数の推移をみると、近年は転出数が転入数を上回り、社会増減はマイナスで推移し、直近5年間の平均ではマイナス90人となっています。

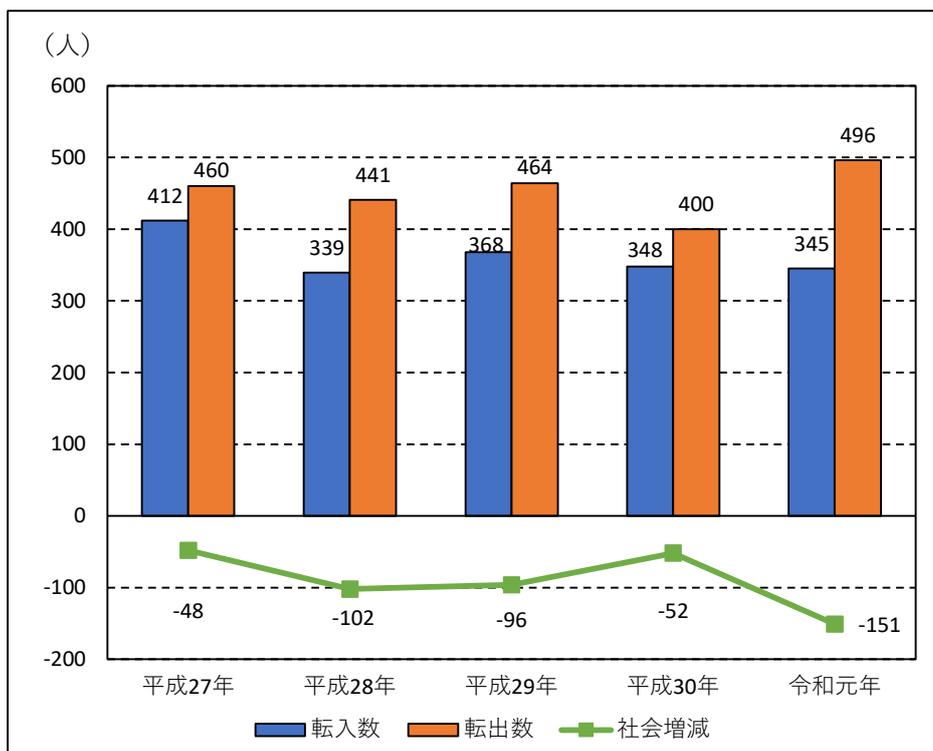


図 2-1-6 社会動態 資料：青森県の推計人口年報（各年 10 月 1 日現在）

⑤将来人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所が平成 27 年（2015 年）の国勢調査をもとに将来人口を予測したところ、2015 年から 2040 年の 25 年間で人口は約 6,300 人減少し、9,406 人と 1 万人を割込み、高齢化率は 16%以上増加しています。

また、「まち・ひと・しごと創生七戸町人口ビジョン」（2020 年改訂版）において、町独自設定による 2040 年の人口推計は 10,682 人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の推計より 1,276 人多くなっています。

人口構造では、2025 年を過ぎると 65 歳以上の高齢者人口が 15～64 歳の生産年齢人口を上回る推計となっており、2030 年には 15 歳未満の年少人口が 1,000 人を下回る推計となっています。

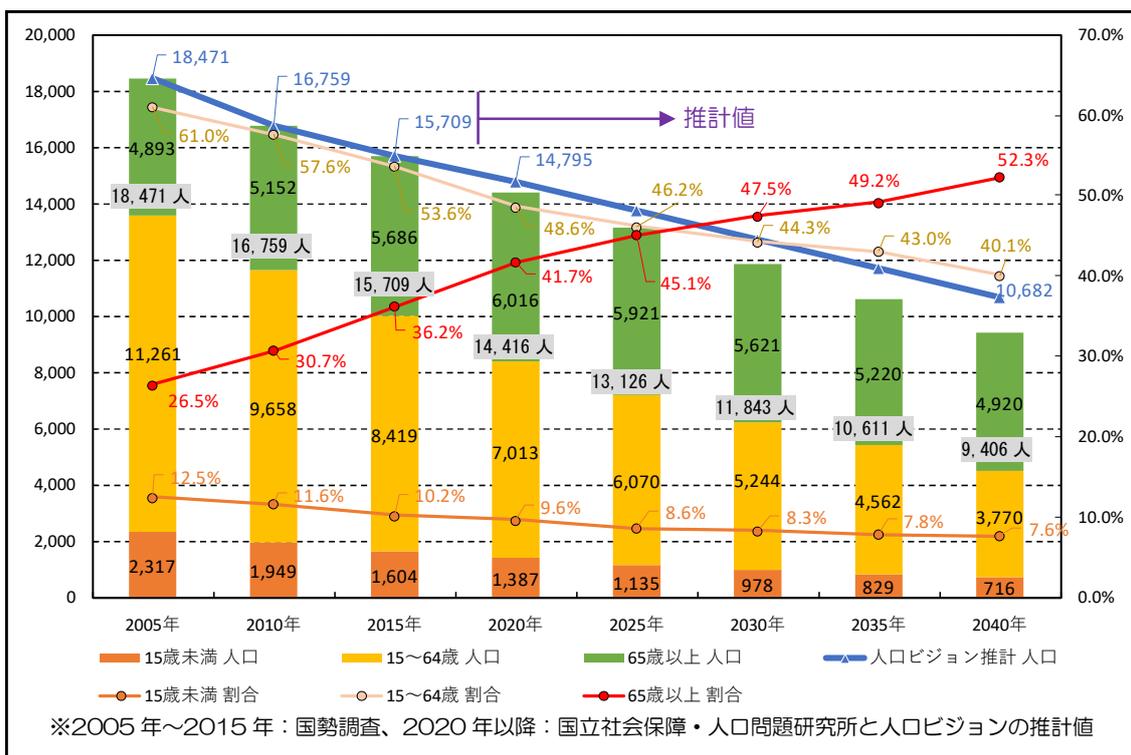


図 2-1-7 将来人口推計

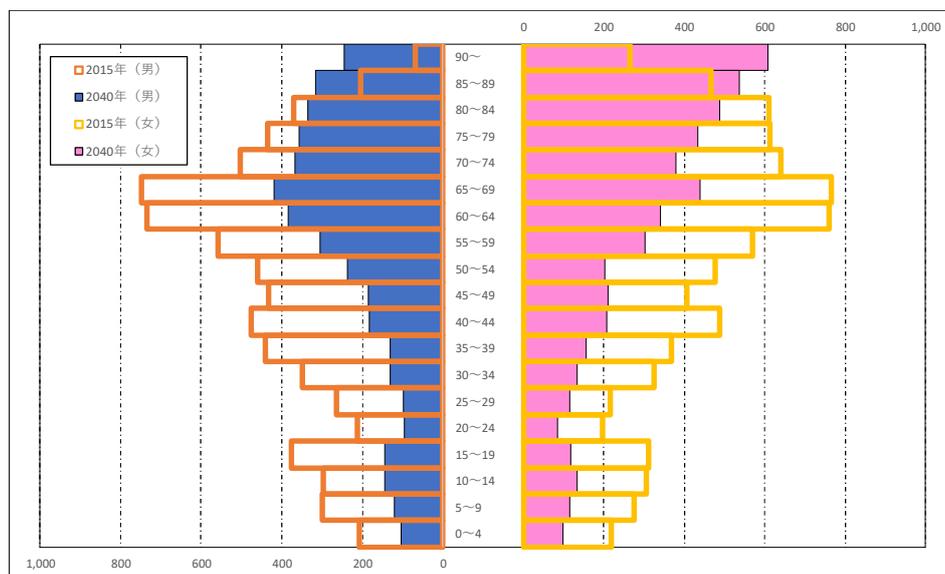


図 2-1-8 人口ピラミッド 資料：国立社会保障・人口問題研究所

⑥人口分布

- ・人口密度

平成 27 年（2015 年）国勢調査における人口分布を見てみると、町の東側に人口が分布しています。特に町役場、町役場七戸支所付近に人口が集まっていますが、そのほかの地区は少人数のエリアが分散し集落が形成されています。ただし、2040 年には人口減少が進行し、人口密度が 25 人/ha 以上のメッシュは町役場七戸支所付近に僅かに存在する程度となります。

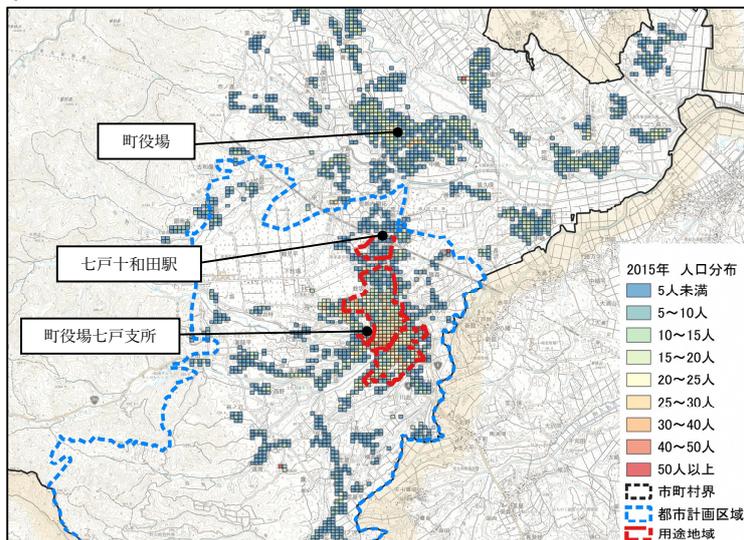


図 2-1-9 2015 年（平成 27 年）100mメッシュ人口分布（全体） ※1

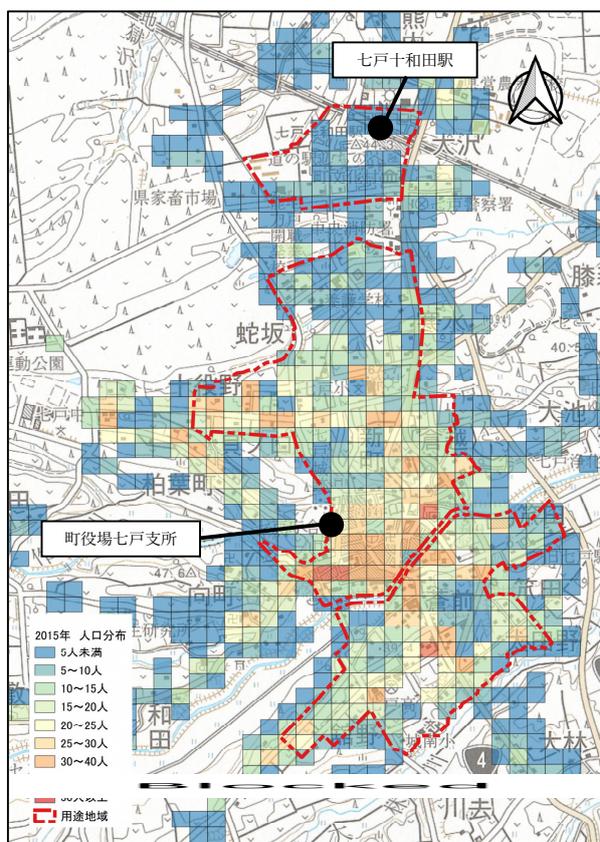


図 2-1-10 2015 年 100mメッシュ人口分布（拡大） ※1

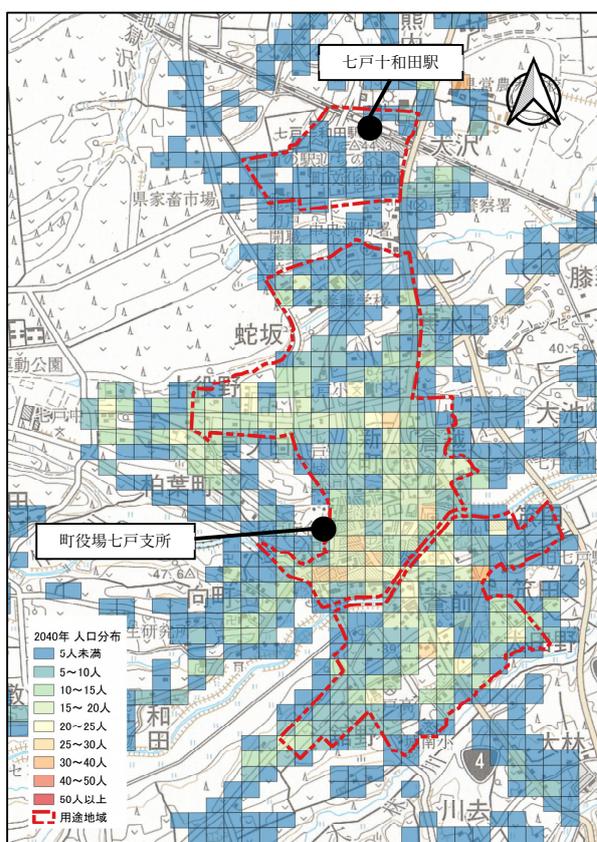


図 2-1-11 2040 年将来人口推計 100mメッシュ人口分布 ※2

※1：平成 27 年国勢調査の 500mメッシュ集計の人口を 100mメッシュに按分したデータをもとに東京大学空間情報科学センターが簡易 100mメッシュデータを作成したデータを使用

※2：青山学院大学井上孝教授が公表している「全国小地域将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計値と整合するように調整）」をもとに東京大学空間情報科学センターが簡易 100mメッシュデータを作成したデータを使用

・高齡化率

平成 27 年（2015 年）国勢調査における人口分布を見てみると、町役場七戸支所周辺の市街地は高齡化率が比較的高く、七戸十和田駅付近は低くなっています。しかし、2040 年の予測によると、町全体で高齡化率が高くなり少子高齡化の影響が見られます。

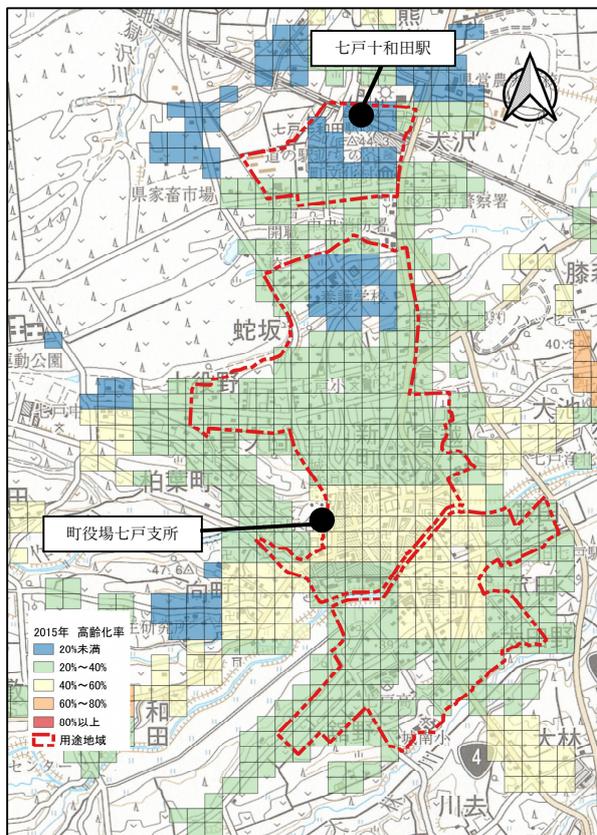


図 2-1-12 2015 年（平成 27 年）高齡化率 ※1

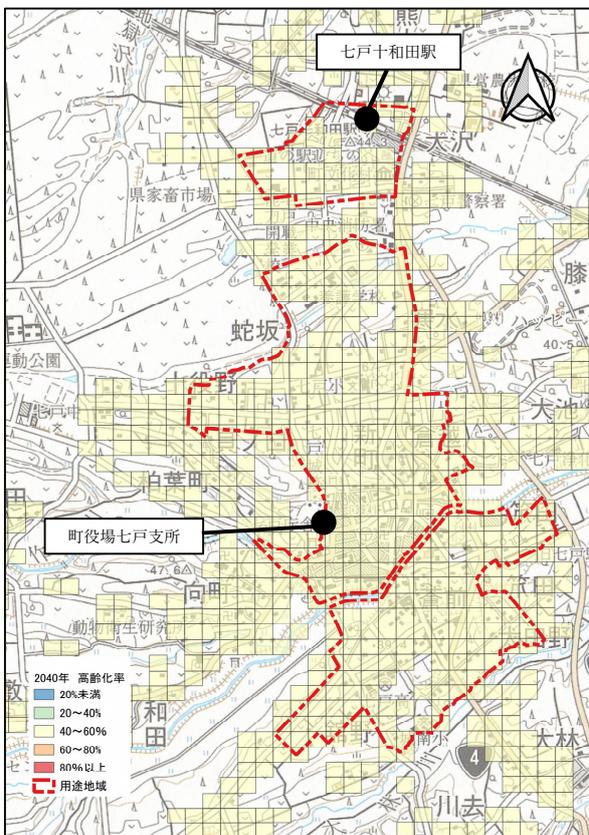


図 2-1-13 2040 年 高齡化率 ※2

※1：平成 27 年国勢調査の 500mメッシュ集計の人口を 100mメッシュに按分したデータをもとに東京大学空間情報科学センターが簡易 100mメッシュデータを作成したデータを使用

※2：青山学院大学井上孝教授が公表している「全国小地域将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計値と整合するように調整）」をもとに東京大学空間情報科学センターが簡易 100mメッシュデータを作成したデータを使用

(2) 土地利用

① 用途地域

用途地域は七戸地区に 314.7ha 指定しています。

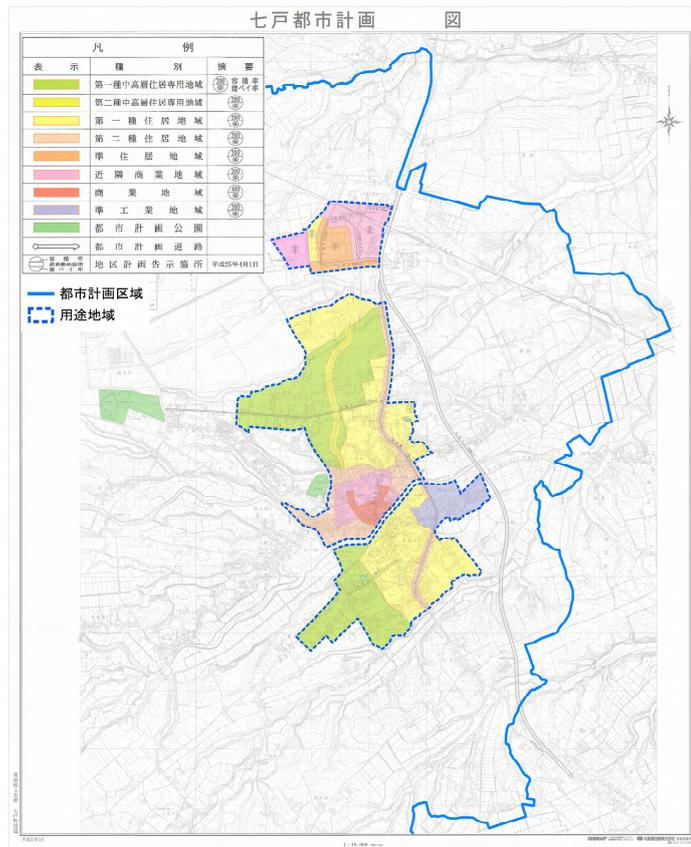


図 2-1-14 用途地域の指定状況

資料：都市計画図

表 2-1-2 都市計画指定状況

都市計画区域名	七戸
法適用年月日	昭和27年7月16日
最終区域指定年月日	昭和50年3月27日
面積 (ha)	7,545
区域	七戸町の一部
都市計画区域人口 (人)	8,517
用途地域内人口 (人)	5,727

資料：青森県の都市計画（2020年3月31日現在）

表 2-1-3 用途地域指定状況

種 別	面積 (ha)	種 別	面積 (ha)
第一種低層住居専用地域	-	田園住居地域	-
第二種低層住居専用地域	-	近隣商業地域	40
第一種中高層住居専用地域	98	商業地域	5.9
第二種中高層住居専用地域	6.8	準工業地域	16
第一種住居地域	105	工業地域	-
第二種住居地域	29	工業専用地域	-
準住居地域	14	計	314.7ha

資料：七戸町

②地形

七戸地区の地形は、起伏があり坂道が多い地形となっています。河川や入り組んだ沢によって高低差が生まれ、密度の高い居住エリアを分断しているのが特徴となっています。

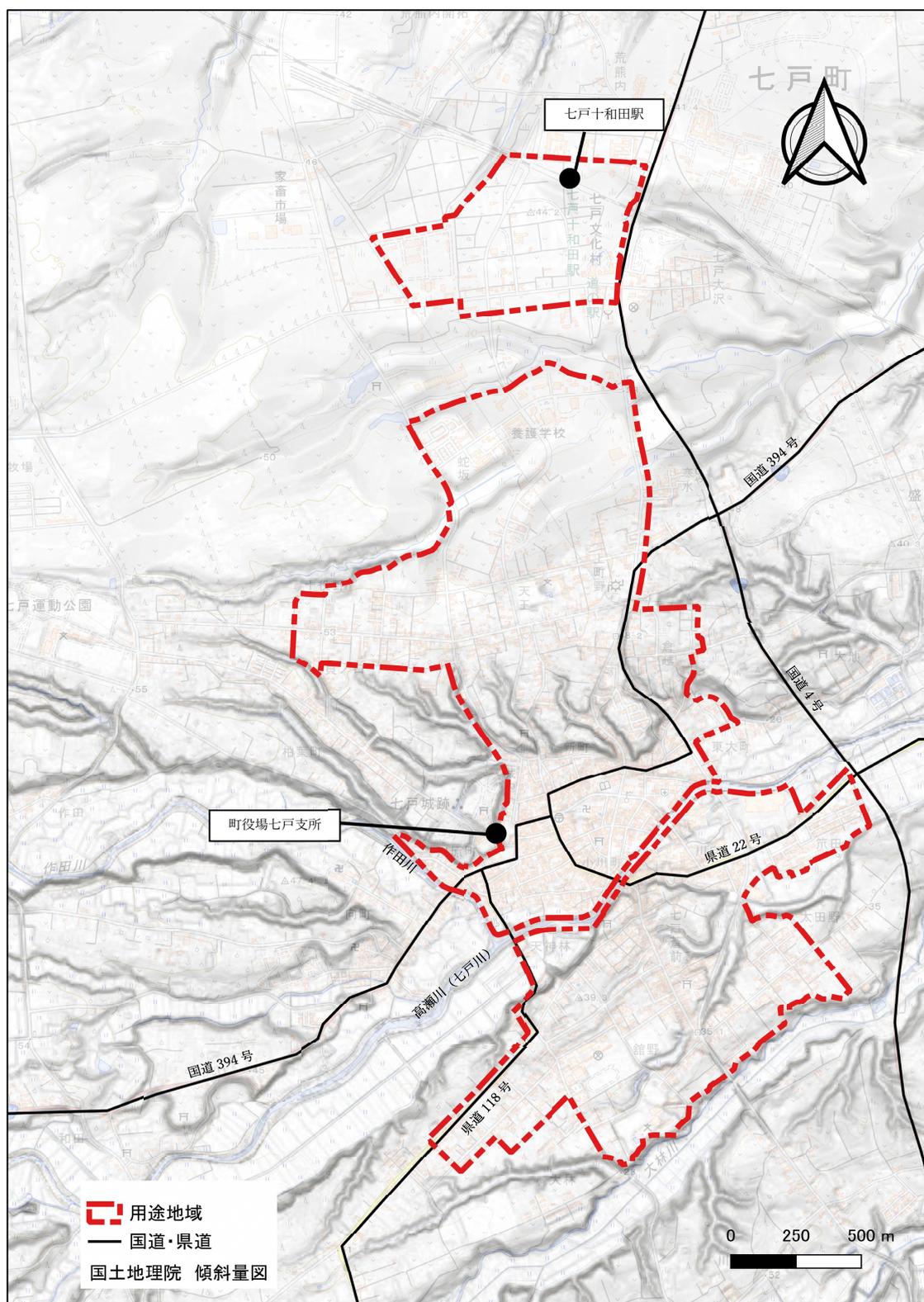


図 2-1-15 地形状況

資料：国土地理院

③土地利用の状況

用途地域内の土地利用は、主に住宅や商業用地及び畑として利用されています。

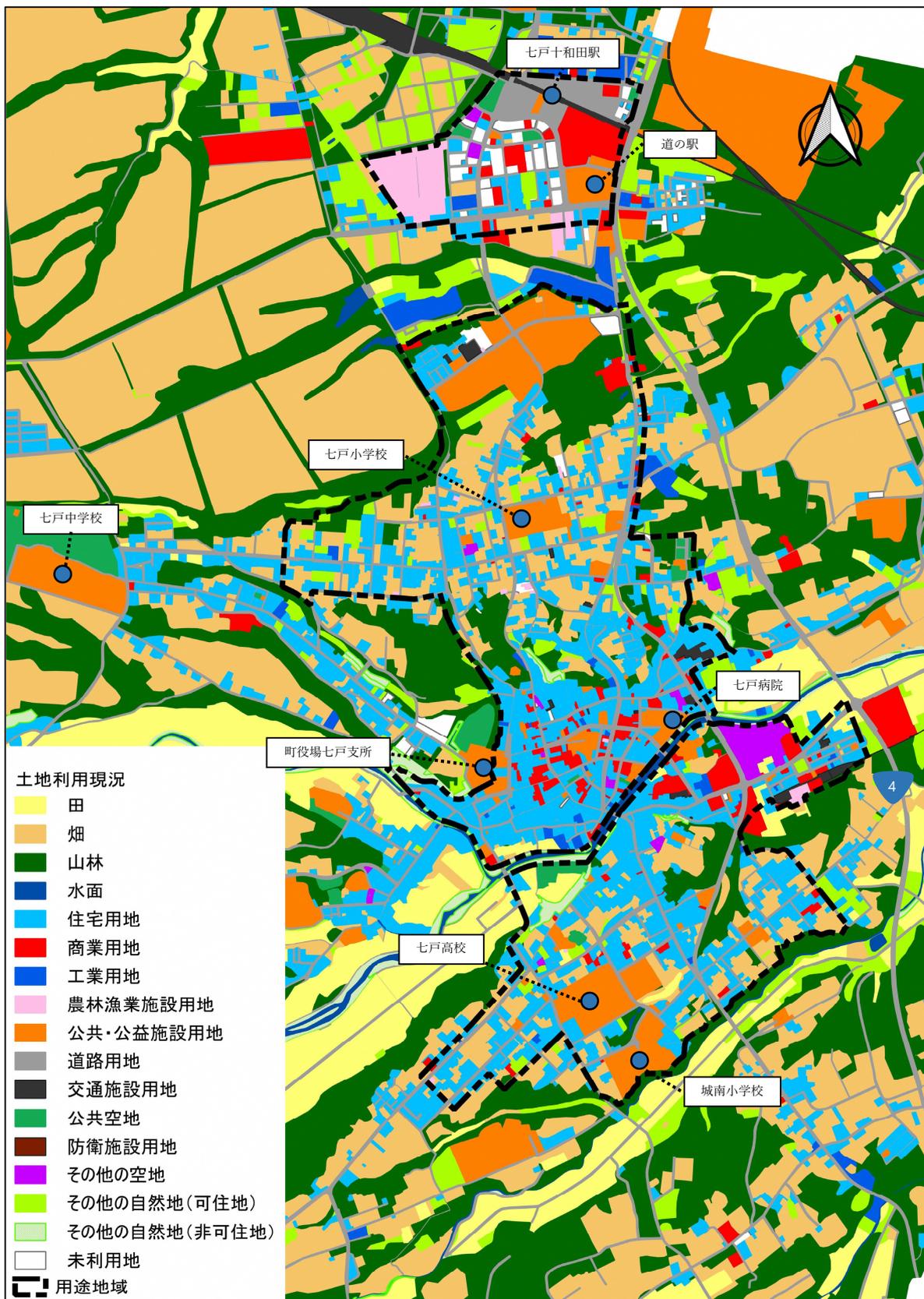


図 2-1-16 土地利用状況

資料：平成 29 年都市計画基礎調査

④宅地開発等の状況

平成22年から平成27年においては、国道4号沿いでスーパーマーケット等の大型店舗の開発があったものの、民間による宅地開発は行われていません。なお、七戸十和田駅周辺では土地区画整理事業によって宅地が整備されています。

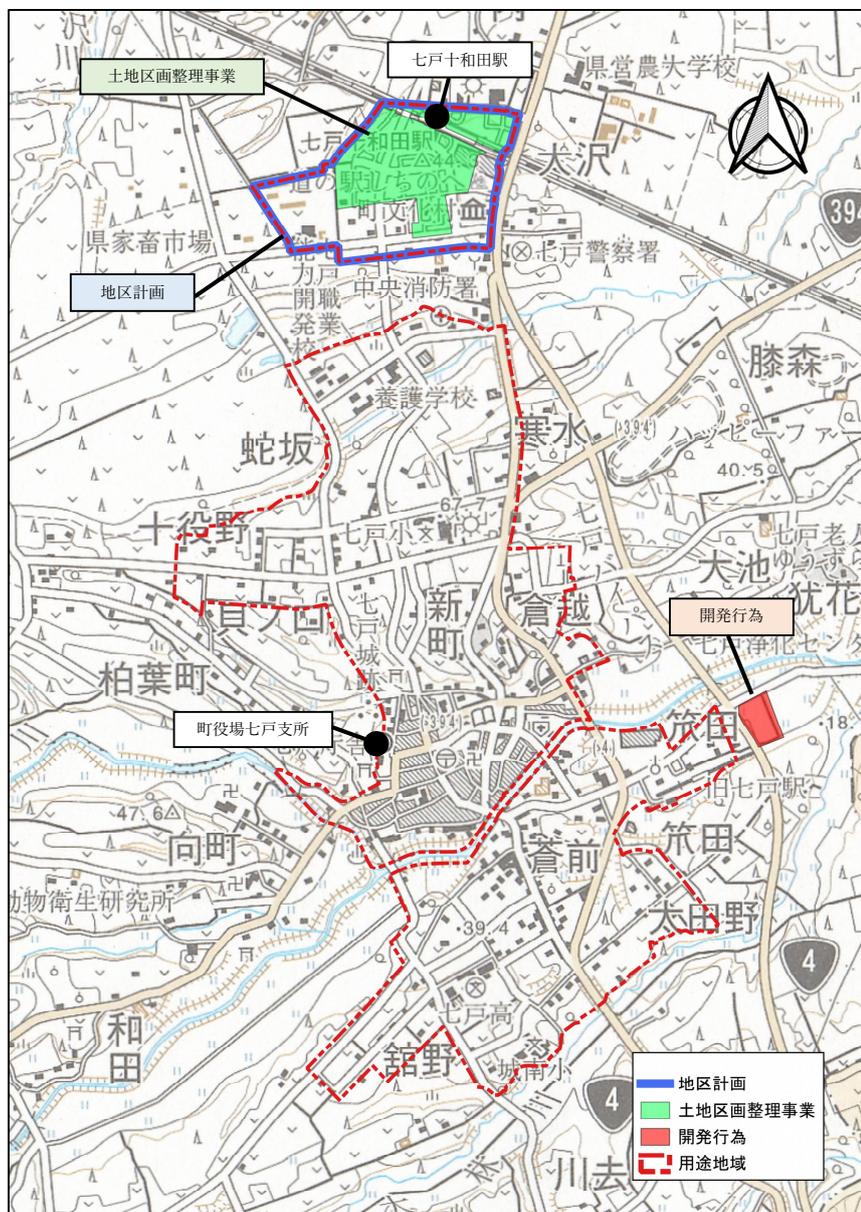


図 2-1-17 宅地開発等の状況

資料：平成29年都市計画基礎調査、七戸町

表 2-1-4 土地区画整理事業

地区名	施行者	面積 (ha)	事業認可	施行年度	施行済 (ha)
七戸町新駅周辺	町	21.9	H18.5.16	H18~H26	21.9

資料：青森県の都市計画（2020年3月31日現在）

表 2-1-5 地区計画

地区名	最終決定年月日	面積 (ha)
新駅周辺地区	R3.2.22	42.5

資料：七戸町

⑤空き家

町の調査では七戸町の空き家は 229 戸確認されています。そのうち用途地域内には空き家は 84 戸あり、空き家や空き地の利活用について検討が必要になっています。



図 2-1-18 空き家分布図

資料：七戸町空き家実態等調査より作成

(3) 都市機能施設

町役場、町役場七戸支所及び七戸十和田駅付近に、金融機関や医療施設が多く立地しています。また、町内に点在する集落にも行政施設や福祉施設が立地しています。

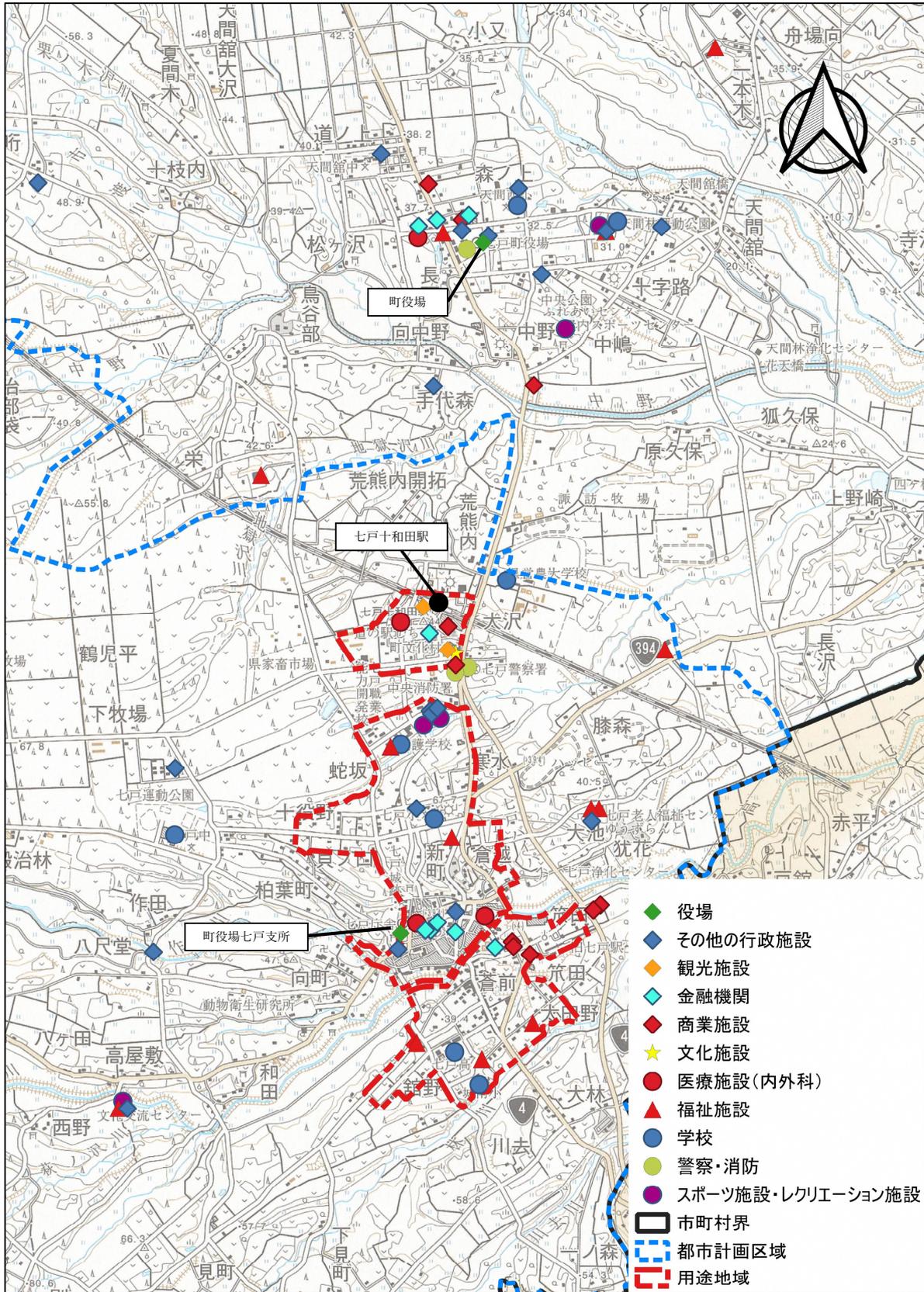


図 2-1-19 都市機能施設の立地状況

(4) 地価

七戸町の地価は、ほぼ全ての地点で横ばいまたは下落していますが、近年は下落幅の縮小や下げ止まりの土地も見られます。

表 2-1-6 地価動向 (円/㎡)

番号	所在地	用途	H26価格	H27価格	H28価格	H29価格	H30価格	H31 (R1) 価格	R2価格	備考
1	字笹田川久保5番8	住宅	19,500	18,400	17,600	17,000	16,600	16,300	16,000	七戸-1
2	字太田野35番15外	住宅	8,800	8,600	8,400	8,300	8,200	8,100	8,000	七戸-2
3	字七戸210番3	店舗	22,500	21,400	20,500	19,000	19,400	19,000	18,500	七戸-5-1
4	字蛇坂25番2	住宅	11,500	11,200	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	七戸(県)-1
5	字七戸38番1	住宅	16,900	16,100	15,400	14,800	14,300	13,800	13,300	七戸(県)-2
6	字森ノ下168番1	住宅	5,800	5,600	5,400	5,300	5,300	5,300	5,300	七戸(県)-3
7	字向中野川向118番1	住宅	7,100	6,800	6,600	6,400	6,300	6,300	6,300	七戸(県)-4
8	字榎林家ノ後52番1	住宅	4,400	4,300	4,200	4,100	4,100	4,100	4,100	七戸(県)-5
9	字寺裏19番10外	住宅・事務所	18,200	17,400	16,700	16,100	15,700	15,400	15,100	七戸(県)-5-1
10	字道ノ上67番6外	銀行	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	七戸(県)-5-2
11	字荒熊内67番18外	工場	6,700	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	七戸(県)-9-1

資料：地価公示、都道府県地価調査

表 2-1-7 地価変動率 (%)

番号	所在地	用途	H27/H26	H28/H27	H29/H28	H30/H29	H31 (R1)/H30	R2/H31 (R1)	備考
1	字笹田川久保5番8	住宅	△ 5.64	△ 4.35	△ 3.41	△ 2.35	△ 1.81	△ 1.84	七戸-1
2	字太田野35番15外	住宅	△ 2.27	△ 2.33	△ 1.19	△ 1.21	△ 1.22	△ 1.24	七戸-2
3	字七戸210番3	店舗	△ 4.89	△ 4.21	△ 7.32	2.11	△ 2.06	△ 2.63	七戸-5-1
4	字蛇坂25番2	住宅	△ 2.61	△ 0.89	0.00	0.00	0.00	0.00	七戸(県)-1
5	字七戸38番1	住宅	△ 4.73	△ 4.35	△ 3.90	△ 3.38	△ 3.50	△ 3.62	七戸(県)-2
6	字森ノ下168番1	住宅	△ 3.45	△ 3.57	△ 1.85	0.00	0.00	0.00	七戸(県)-3
7	字向中野川向118番1	住宅	△ 4.23	△ 2.94	△ 3.03	△ 1.56	0.00	0.00	七戸(県)-4
8	字榎林家ノ後52番1	住宅	△ 2.27	△ 2.33	△ 2.38	0.00	0.00	0.00	七戸(県)-5
9	字寺裏19番10外	住宅・事務所	△ 4.40	△ 4.02	△ 3.59	△ 2.48	△ 1.91	△ 1.95	七戸(県)-5-1
10	字道ノ上67番6外	銀行	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	七戸(県)-5-2
11	字荒熊内67番18外	工場	△ 1.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	七戸(県)-9-1

資料：地価公示、都道府県地価調査

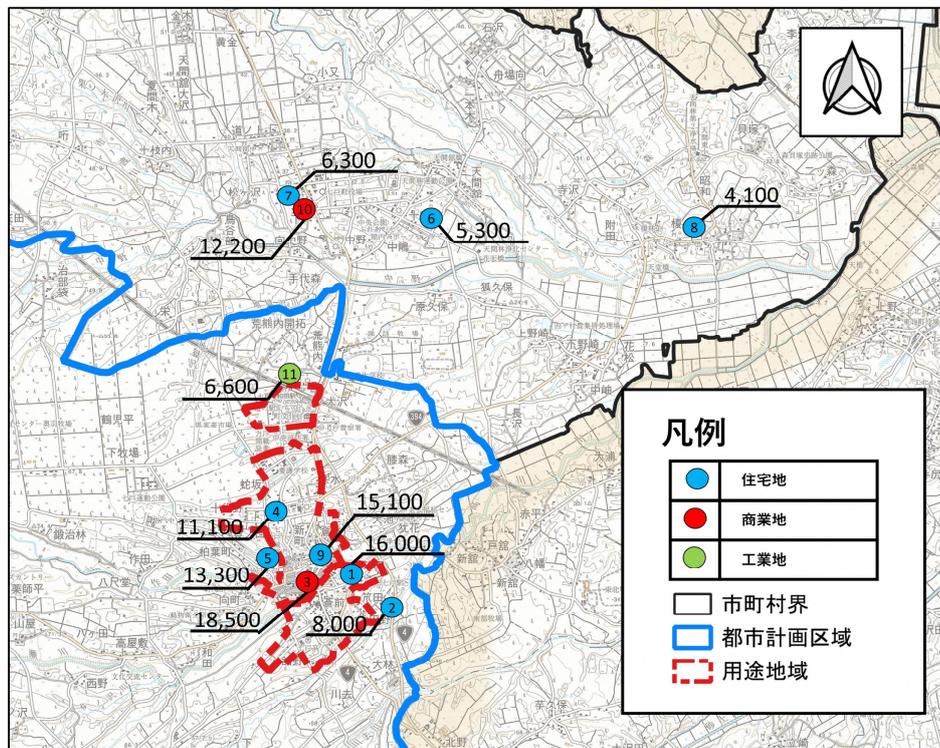


図 2-1-20 地価動向

資料：地価公示、都道府県地価調査

(5) 交通

①道路、鉄道網

南北に縦断する国道 4 号が南方の十和田市・八戸市と北方の野辺地町・青森市を結ぶ大動脈となっています。東西に横断する国道 394 号、みちのく有料道路、上北自動車道、県道がその国道 4 号に連絡して道路網を形成しています。なお、上北自動車道天間林道路と国道 394 号榎林バイパスを現在整備中です。

鉄道は、JR 東北新幹線が東西を横断しており、平成 22 年に開業した七戸十和田駅は七戸町のみならず、上十三・下北地区の玄関口としても利用されています。平成 28 年には北海道新幹線が開業し、東京駅とは約 3 時間、新函館北斗駅とは約 1 時間半で結ばれ、現在 1 日 12 往復が運行されています。七戸十和田駅の 1 日平均乗車人口は開業から増加傾向にあり、住民や観光客の移動手段として多くの方に利用されています。このため、駅周辺の公共駐車場は休日前後では満車となり、近くに臨時駐車場を確保している状況です。

在来線については、青い森鉄道線が町内北東部を通過していますが、町内に駅はありません。

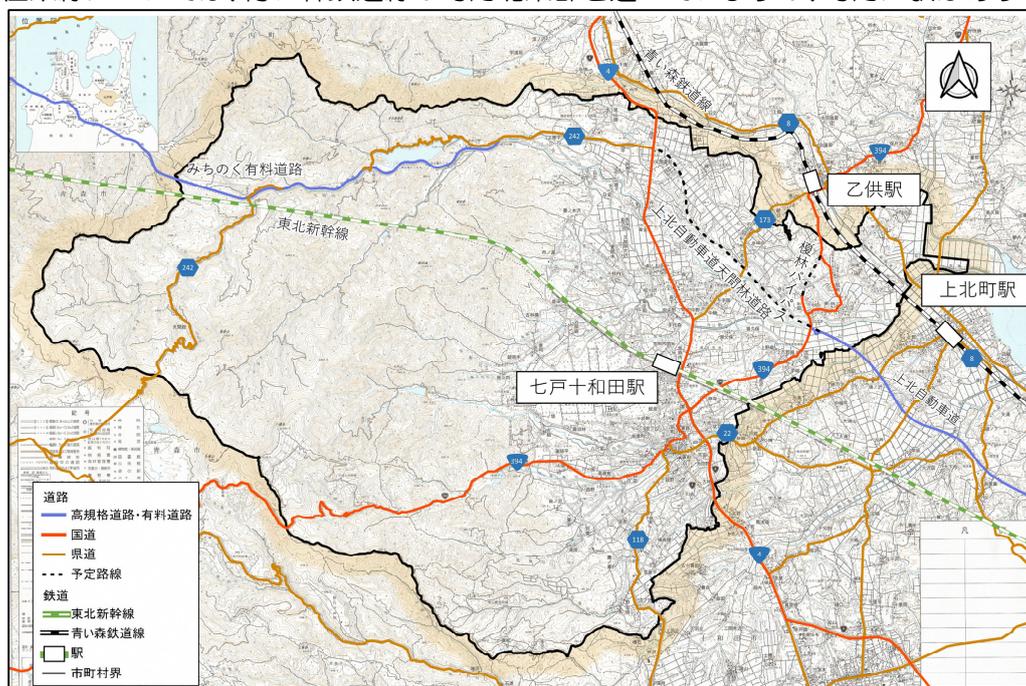


図 2-1-21 道路鉄道網

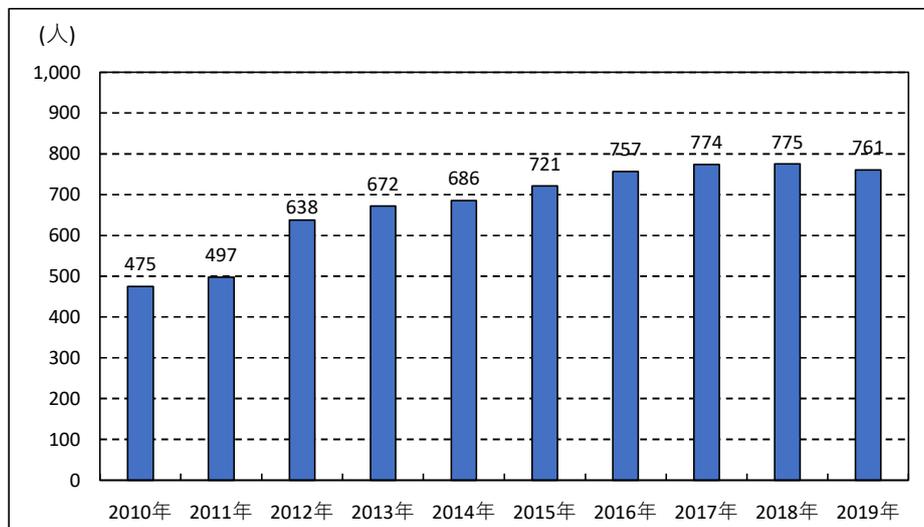


図 2-1-22 七戸十和田駅 1 日平均乗車人員

資料：JR 東日本

②路線バス・コミュニティバス

バス路線は十和田観光電鉄の6路線、七戸町コミュニティバスの7路線、計13路線が七戸町内を運行しています。

十和田観光電鉄は、七戸町と野辺地町や十和田市、東北町などの周辺市町村を連絡する役割を担っており、特に十和田市と連絡する路線が多く運行されています。

七戸町コミュニティバスは、町内の各集落を連絡する各路線の運行は平日3日間と少ないものの、有効な交通手段となっています。また、町役場と町役場七戸支所を連絡しているシャトルバスは毎平日運行しています。

表 2-1-8 バス路線と運行状況

十和田観光電鉄			
No.	路線名	運行日	運行本数 (1日あたりの往復)
1	十和田市～七戸～野辺地～まかど温泉線	毎日	12.5
2	七戸～乙供～東北町～水喰線	平日	6.5
3	七戸～上北町～三沢、七戸十和田駅～上北町線	平日	6
4	十和田市～七戸～(みちのく)～青森線	毎日	3
5	七戸～芋久保～十和田市線	平日	2.5
6	七戸官庁街回り市内線	平日	1

七戸町コミュニティバス			
No.	路線名	運行日	運行本数 (1日あたりの往復)
7	倉岡・蛇坂線	月・水・金	1.5
8	西野・上屋田線	火・木・金	1.5
9	野々上・館野線	火・木・金	1.5
10	柳平・坪・向原子・小又線	月・火・木	1.5
11	榎林・荒熊内線	月・水・木	1.5
12	寺沢・底田・鳥谷部線	月・水・金	1.5
13	シャトルバス(本庁舎～七戸支所)	月～金	5

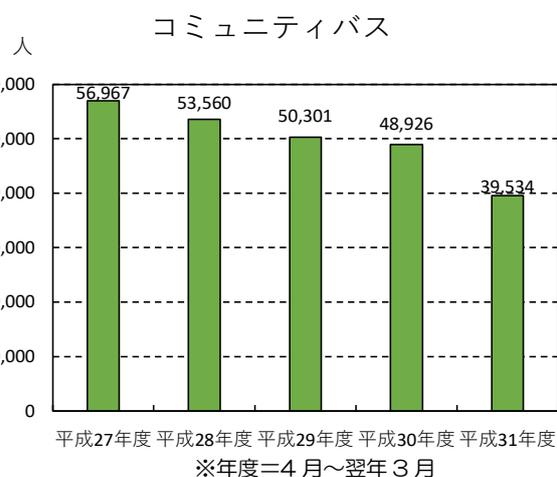


図 2-1-23 バス利用状況

資料：七戸町

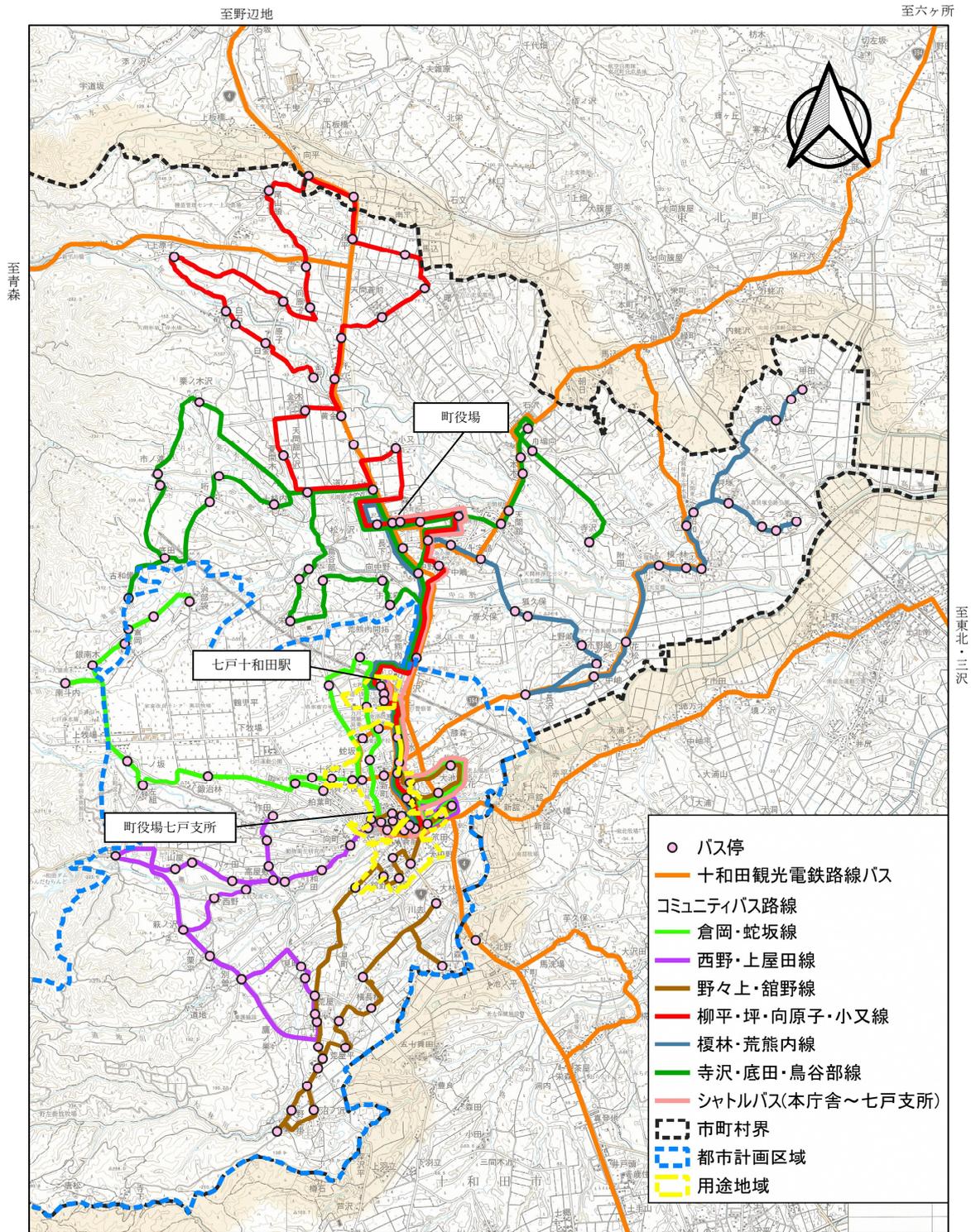


図 2-1-24 バス路線図

資料：七戸町バスブック 2020 年 6 月発行より作成